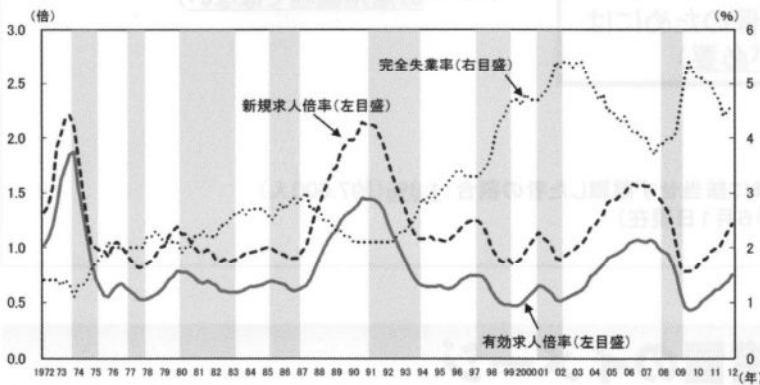


# 平成24年版労働経済白書の概要

## 労働経済の分析 ～分厚い中間層の復活に向けた課題～

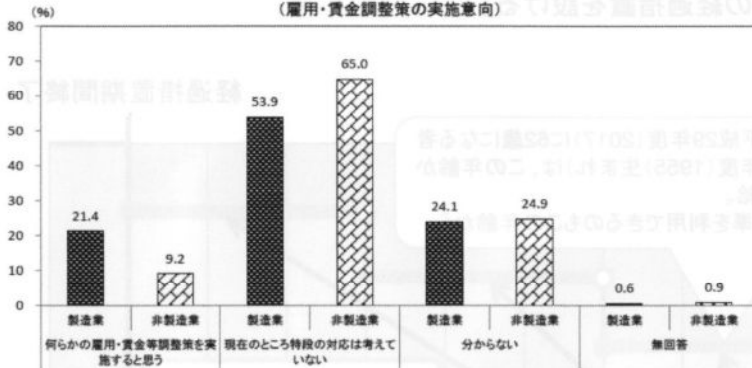
9月14日、平成24年度の労働経済白書が閣議に報告・公表されました。副題は、「分厚い中間層の復活に向けた課題」で、日本の労働市場の課題とその対応、労働者、企業、政府（公的部門）をめぐる様々な課題について分析しています。本稿ではその概要をご紹介します。

図1 雇用情勢の推移



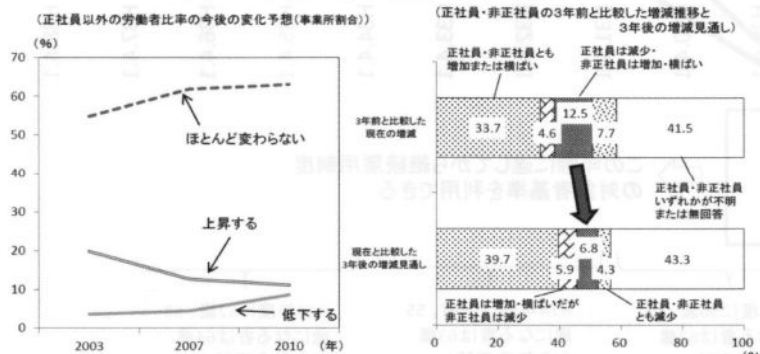
資料出所 厚生労働省「職業安定業務統計」、総務省統計局「労働力調査」

図2 雇用・賃金調整策の実施意向  
(雇用・賃金調整策の実施意向)



資料出所 (独)労働政策研究・研修機構「今後の企業経営と雇用のあり方に関する調査」(2012年1月時点)

図3 今後の非正規雇用者の見通し



資料出所 厚生労働省「就業形態の多様化に関する総合実態調査」  
(独)労働政策研究・研修機構「今後の企業経営と雇用のあり方に関する調査」(2012年)

### 第1章 労働経済の推移と特徴

雇用情勢は持ち直しの動きがみられたが、東日本大震災の影響もあり依然として厳しい状況となっている(図1)。

被災地では、政府の緊急対策もあり、雇用は改善している。一方で、ミスマッチの改善や本格的復興が課題となっている。

2011年は震災、円高、世界経済の減速などにより貿易赤字となった。今後も円高が進んだ場合、

製造業の2割が賃金・雇用調整を行う可能性もあり(図2)、急激な円高等に注視が必要である。

2011年の現金給与総額は2年ぶりに減少した。また、緩やかなデフレ状態の中、マクロの消費は回復傾向にあるが、世帯レベルでは厳しい家計状況が続いている。

### 第2章 貧困・格差の現状と分厚い中間層の復活に向けた課題

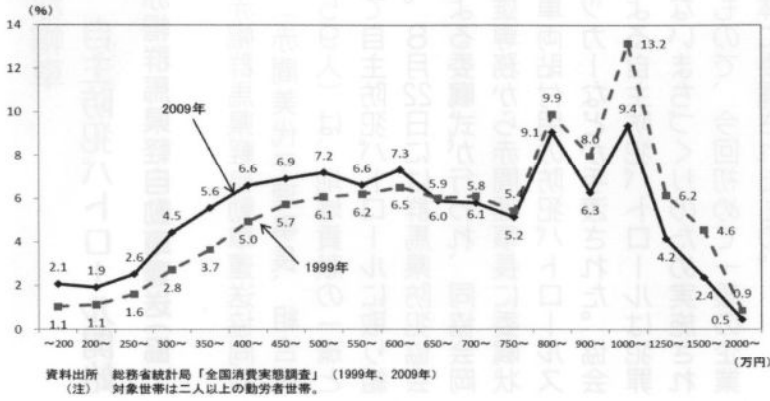
非正規の常雇が増加し、家計を

支える非正規雇用者も増加する中、その家計は余裕がなく結婚や子どもの数などにも影響している。正社員を希望する非正規雇用者は約2割存在する。

非正規雇用者を正社員に登用する企業も増える中、全体の非正規雇用者の増加傾向には変化の兆し(図3)が見られる。

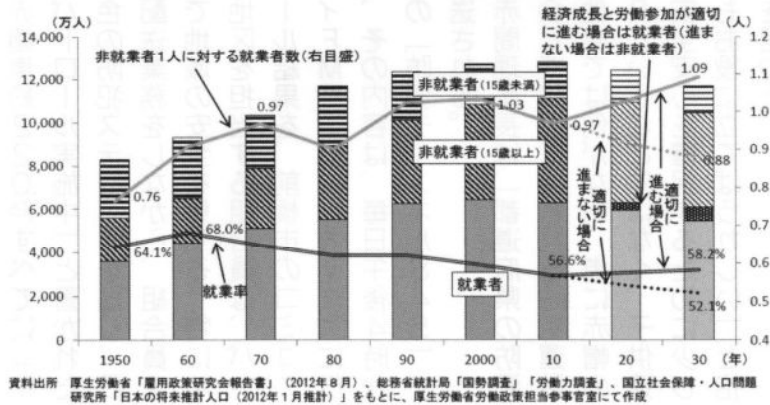
一方で長期失業者、中年無業者、経済的理由による生活保護受給者が増加し、早期の対応が課題

図4 年間収入の分布の10年前との比較



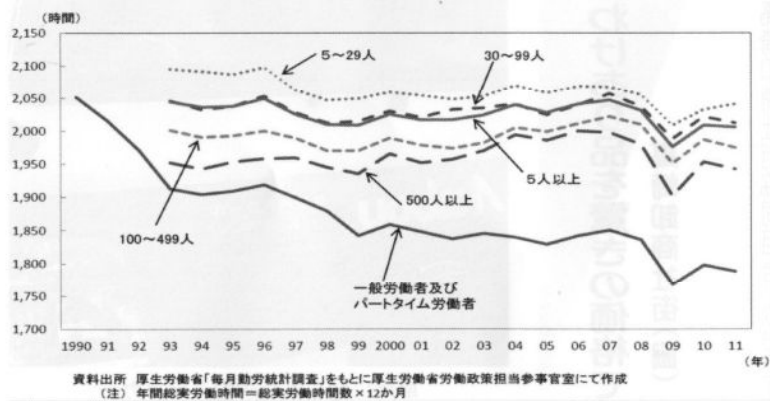
となっている。  
 パブル以降の消費については、世帯数の伸びや家計の金融資産が押し上げ要因となったのに対し、可処分所得や消費者マインドがマインスの影響を与えている。特に、可処分所得が家計消費の増加幅縮小の最大の要因となっている。  
 世帯所得は分布が低い層にシフトしているが(図4)、消費を最も期待できる中所得者層の増加が潜在需要の顕在化のためにも重要

図5 非就業者に対する就業者数の割合



である。  
**第3章 就労促進に向けた労働市場の需給面及び質面の課題**  
 日本では人口減少、高齢化が進んでいるが、経済成長と労働参加が適切に進めば、2030年の非就業者1人に対する就業者の数は、現在と比べて大きく増加する見通し(図5)となっている。若者、女性、高齢者、障害者などあらゆる人の就業意欲の実現が重要であ

図6 労働時間の推移



る。  
 非正規雇用者が能力開発を受けられる機会は正社員の半数しかなく、非正規雇用者比率の上昇に伴い人的資本は劣化してきた。正社員中心の能力開発のあり方を見直す必要がある。  
 短縮が進まない一般労働者の労働時間(図6)、第3次産業で増加傾向にある労働災害など、「デイーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)」の観点からの

職場環境改善の課題は多い。  
 日本の労働市場は、国際比較で見ると若年失業率が低いなど、パフォーマンスは良好である。労働移動は長期的に活発化しており、ハローワークの労働力需給調整機関としての機能も高まっている。正社員を絞り込んだ結果、企業の労働費用調整の弾力性が失われている面もある。  
**まとめ 分厚い中間層の復活を目指して**  
 労働者の所得の増加が消費の増加を通じて日本経済の活性化につながるという日本経済のマクロの好循環を取り戻すことが必要であり、そのためには「分厚い中間層」の復活が必要である。  
 そのためには、①誰もが持続的に働ける全員参加型社会の構築により、人口減少、高齢化の下でも日本の経済社会の活力を維持・向上させること、②企業だけでなく社会全体で非正規雇用者も含めた能力開発を行い、人的資本を蓄積していくこと、③労働者が安心して安全に働ける環境整備を行い、「デイーセント・ワーク」を実現していくことが不可欠である。